

技術を^{おしだ}押し出し、未来へ **ワクワク**

**2026年3月期
第3四半期決算（連結）説明資料**

 **フクビ化学工業株式会社**

2026年2月12日
広報・IR推進室

事業概要

建材事業

住宅・非住宅分野

外装建材、内装建材、床関連材、システム建材等の開発・製造・販売



住宅設備・車輻・インフラ分野 など

CSE事業

ユーザーのニーズに応えるOEM製品・ODM製品等の開発・製造・販売



フクビのコア技術

複雑な断面形状をもつ製品を成型する「異形押出成形技術」

樹脂の「配合・成形・加工」を一貫して行う開発型メーカー

高透明・低反射を実現する「特殊コーティング技術」



海外市場向けの外装建材、内装建材等の開発・製造・販売



反射防止付樹脂シートを主とする機能性コーティング製品の開発・製造・販売

精密事業

モビリティ分野 など

海外市場向け住宅分野

海外事業

決算ハイライト

2026年3月期
第3四半期業績
(2025年10-12月)

- **売上高** 302億25百万円 (前年同期比 **+0.5%**)
売上総利益 92億9百万円 (前年同期比 **+1.8%**)
 - ・原価を抑えたことによる売上総利益の増益
- **営業利益** 12億47百万円 (前年同期比 Δ **1.7%**)
経常利益 15億92百万円 (前年同期比 **+1.3%**)
親会社株主に帰属する**四半期純利益** 12億58百万円 (前年同期比 **+19.5%**)

2026年3月期
業績予想

賃上げやIT関連費用の増大など固定費の利益圧迫により営業利益が減益となったが、**増産体制整備などの施策実行により第4四半期の売上高および営業利益の確保を見込んでいる**ため、直近に公表されている業績予想から**修正無し**。

株主還元

累進配当を導入し、直近に公表されている配当予想**27円**から**修正無し**。

2026年3月期 第3四半期決算概要

- 売上高は前年同期に比べ0.5%増収となり、売上原価を抑えたことにより、売上総利益率が改善し、売上総利益が**1.8%増益**。販管費ではデジタル関連費用の増加影響により、営業利益が前年同期比**1.7%減益**。

(単位：百万円)

	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	増減率(%)
売上高	30,089	30,225	0.5
売上総利益	9,048	9,209	1.8
営業利益	1,269	1,247	△1.7
経常利益	1,571	1,592	1.3
親会社株主に帰属する中間純利益	1,053	1,258	19.5

経営指標の推移

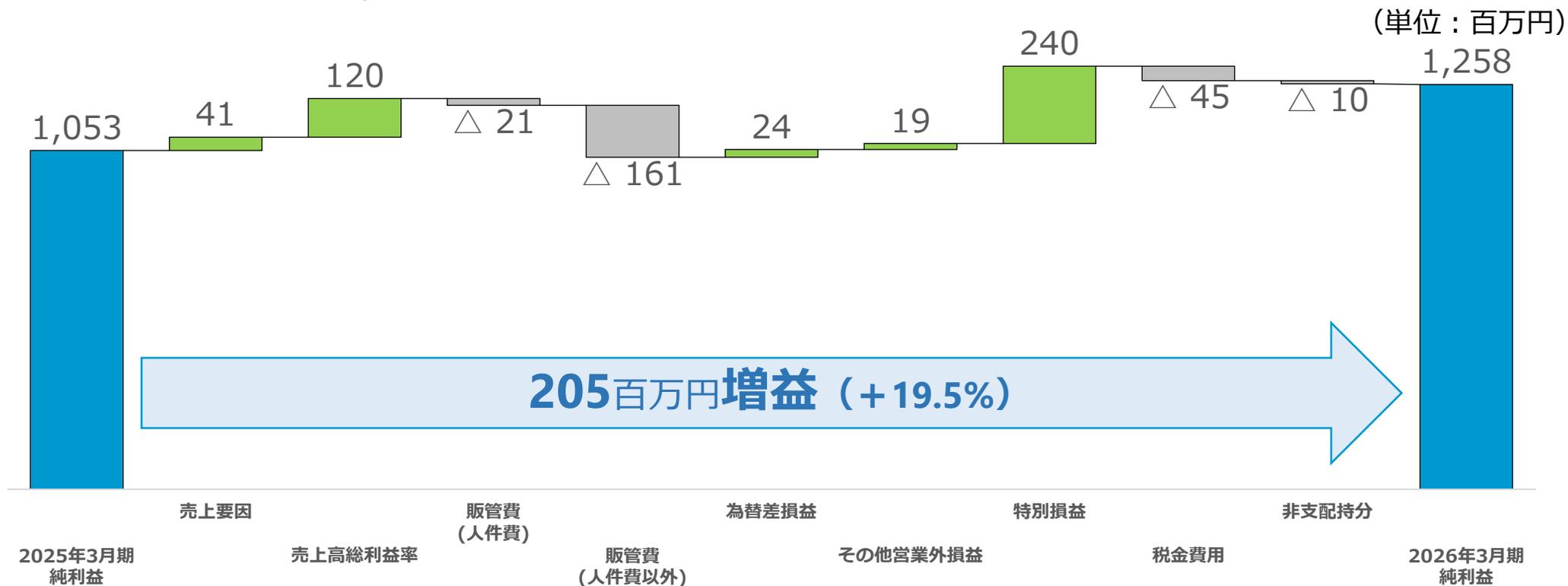
	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
PBR	0.38倍	0.34倍	0.5倍	0.44倍
PER	10.78倍	7.9倍	10.57倍	11.15倍
ROIC	3.2%	3.7%	3.3%	3.8%
ROE	3.5%	4.5%	4.9%	4.0%
D/Eレシオ	0.028	0.028	0.034	0.030

2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	増減
0.40倍	0.48倍	0.08pt
10.51倍	11.02倍	0.52pt
4.0%	3.7%	△0.4pt
3.9%	4.5%	0.6pt
0.032	0.027	△0.005pt

※各期間の当社株主に帰属する当期純利益を
年率換算して算出

純利益前年比較 増減要因

- 売上が**136百万円増加**し、**売上総利益が41百万円増加**。
- 売上総利益率が前期比**0.4ポイント上昇**したことにより、**120百万円売上総利益が増加**。
- 営業外損益：為替差益24百万円増加とプラス要因。
- 特別利益：投資有価証券売却益等の計上により153百万円増加とプラス要因。

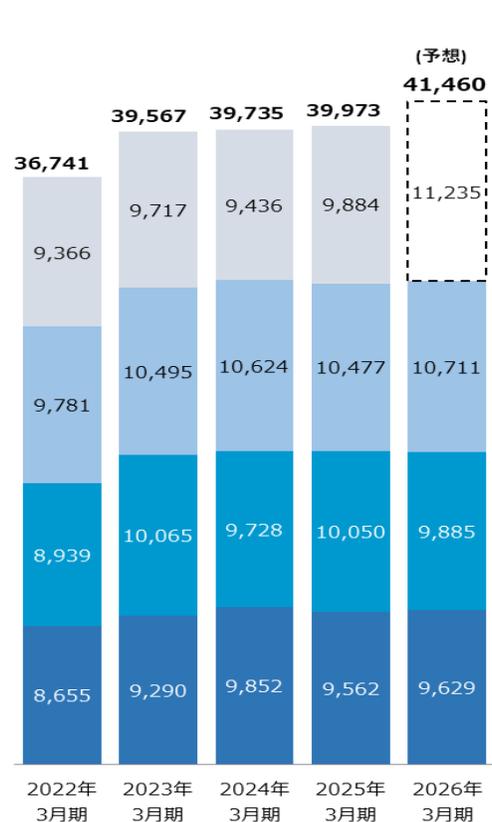


四半期ごとと業績推移と通期業績予想

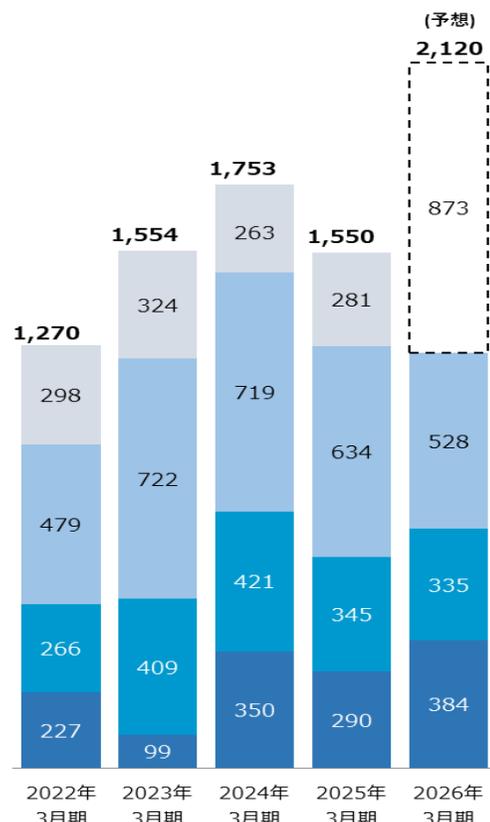
■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q

(単位：百万円)

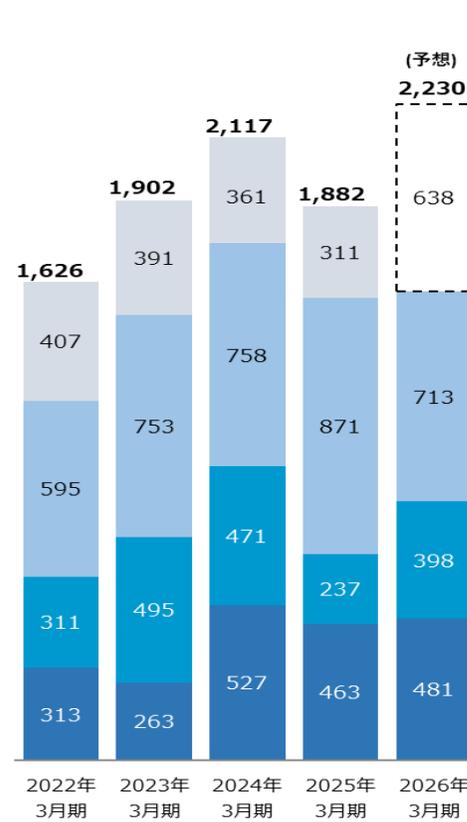
売上高推移



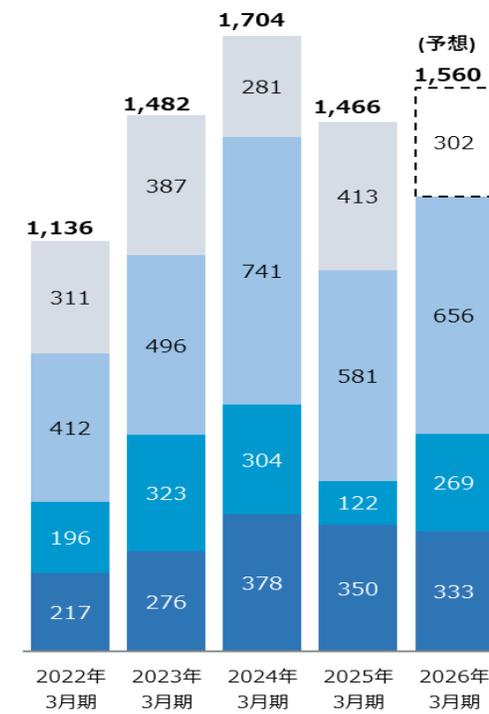
営業利益推移



経常利益推移



親会社株主に帰属する 当期純利益推移



セグメント別の概況（建材事業）

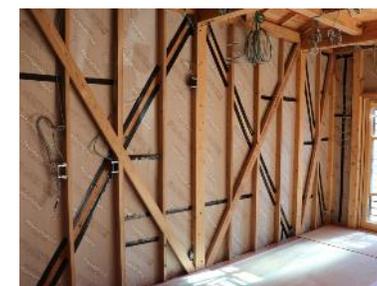
- 新設住宅着工数が前年同期比13.7%減という厳しい環境から、事業全体の売上高は同1.9%減、営業利益は同8.3%減と減収減益を余儀なくされる。
- 中期経営計画の重点事業領域である断熱事業が同 **6.3%増**、環境配慮型商品が **同34.5%増** と力強く伸長し、汎用品の減少分を大きくカバー。この領域は引き続き伸長すると予想。
- 廃校を活用した断熱改修実証プロジェクト始動による認知度向上や本部横断の事業拡大プロジェクトの加速などにより、収益機会の更なる拡大を目指す。

(単位：百万円)

	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	増減額	増減率 (%)
売上高	19,370	19,008	△362	△1.9
売上総利益	7,150	6,933	△216	△3.0
営業利益	2,746	2,519	△227	△8.3



「Fukuvalue」認証商品
再生木『プラスッド』



高性能断熱材
『フェノバボード』

セグメント別の概況（CSE事業）

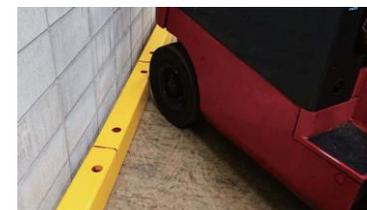
- 建築資材系OEM品の中でも床材が伸び悩んだが、非建築資材系OEM品のうち、イルミネーション部材『光ガイディングバー』が前年同期比**487.4 %の増**と顕著な伸びを示し、物流資材『樹脂製フォークガード』や、バスなどの大型車両向け部材が引き続き好調に推移。事業全体では、売上高が前年同期比**0.2 %の増収**。
- 利益面では、固定費削減が利益を押し上げ、営業利益で**同76.3%の増益**。

(単位：百万円)

	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	増減額	増減率 (%)
売上高	7,605	7,621	16	0.2
売上総利益	951	1,081	130	13.7
営業利益	227	400	173	76.3



自動車内装のイルミネーション部材などに利用される『光ガイディングバー』



視認性の高いフォークリフトの衝突回避物流資材『樹脂製フォークガード』



車両向け部材 マイクロバスのクーラーダクト など

セグメント別の概況（精密事業）

- カメラやセンサーなどの電子機器向け部材を中心に非車載分野が前年同期並みの水準となった一方、車載向け反射防止部材が同**40.6%増**と好調に推移し、事業全体では売上高が前年同期比 **12.0%の増収**。
- 製造ラインの生産性向上にも継続して取り組み、営業利益で**同103.9%の増益**と収益性が改善。

(単位：百万円)

	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	増減額	増減率 (%)
売上高	1,242	1,390	148	12.0
売上総利益	243	396	126	52.0
営業利益	114	233	119	103.9



車載分野
メーターカバー、
ヘッドアップディスプレイ など



非車載分野
電子機器 (カメラレンズカバー) など

セグメント別の概況（グローバル事業）

- ▶ ベトナム・タイの各現法の建材ビジネスが順調に推移しており、さらなる事業拡大に向けてASEAN地域での顧客開拓に注力。また、米国現地法人の建材OEM品や海外向け車両部材が好調に推移した結果、全体で売上高が前年同期比 **14.6%の増収**。
- ▶ 利益面では、経費削減により営業利益が**黒字に転換**。

(単位：百万円)

	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	増減額	増減率 (%)
売上高	2,481	2,844	363	14.6
売上総利益	583	769	186	31.9
営業利益	△102	26	128	—



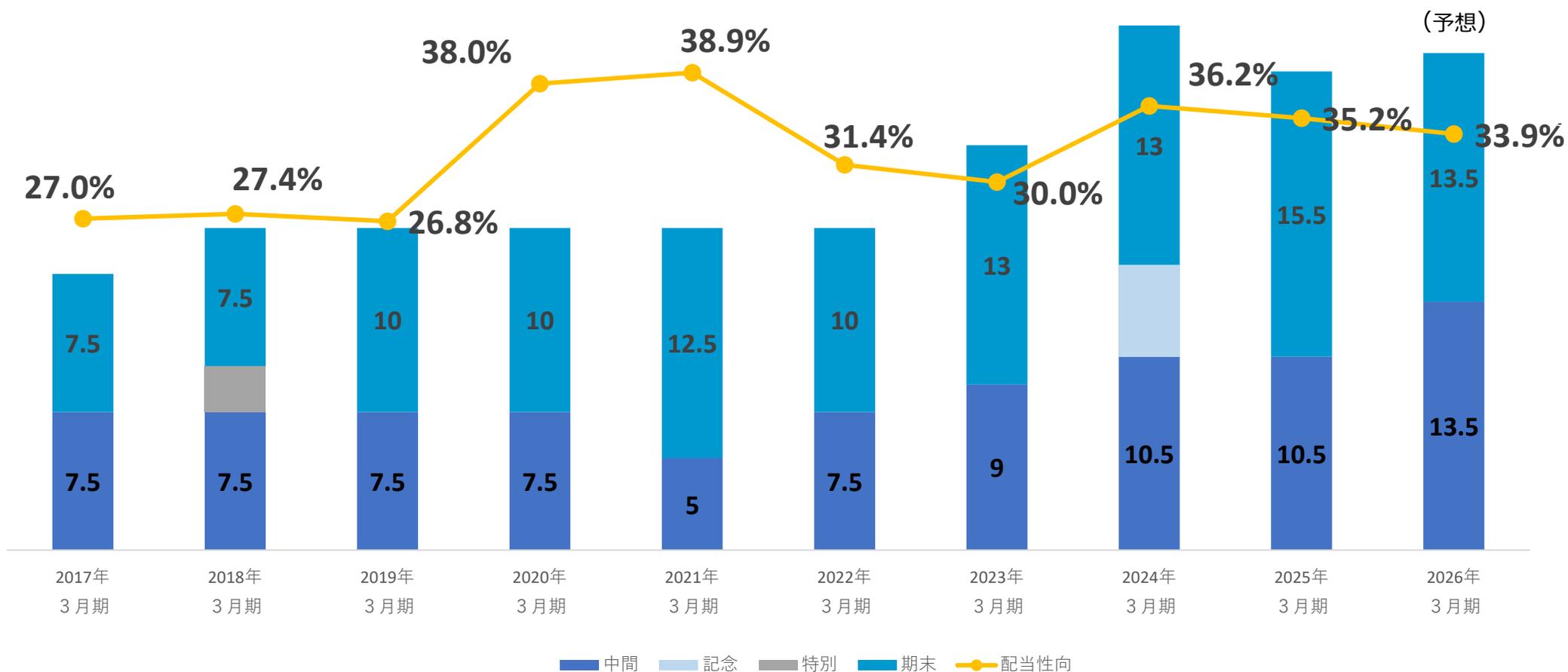
内装部材
『ソフト巾木』 など



フリーアクセスフロア
『OAフロア TN-50』 など

配当の推移

- 2026年3月期は年間27円の配当（増配）を予定。
- 株主還元の充実を図るため**累進配当**を導入。



貸借対照表

- 自己資本 382億52百万円、自己資本比率 71.2%
- 純資産において、成長戦略の一環として子会社であるリフォジュール株式会社の株式を追加取得したため、非支配株主持分が2億61百万円減少。

(単位：百万円)

		2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	増減	主な要因
資産	流動資産	35,454	34,374	△1,080	売上債権が2,235増加、現金及び預金が3,524減少
	固定資産	17,783	19,321	1,538	投資有価証券が1,373増加
資産合計		53,237	53,695	458	
負債	流動負債	13,394	11,890	△1,504	仕入債務が1,069減少、未払法人税等が306減少
	固定負債	2,323	2,889	566	繰延税金負債が584増加
負債合計		15,717	14,779	△939	
純資産合計		37,520	38,916	1,397	為替換算調整勘定が70減少、利益剰余金が668増加、その他有価証券評価差額金が1,047増加
負債純資産合計		53,237	53,695	458	

損益計算書

(単位：百万円)

科目	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	対前年同期 第3四半期増減
売上高	30,089	30,225	136
売上原価	21,040	21,015	△25
売上総利益	9,048	9,209	161
販売費及び一般管理費	7,780	7,962	182
営業利益	1,269	1,247	△22
営業外収益	333	385	52
営業外費用	31	40	9
経常利益	1,571	1,592	21
特別利益	38	191	153
特別損失	104	18	△86
法人税等	410	455	45
四半期純利益	1,096	1,311	215
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,053	1,258	205

2026年3月期 第3四半期のトピックス

製品・技術開発

新製品

再生木『PLUSWOOD-NR』を発売

再生木『プラスッド（福井県産材入り）』、『PLUSWOOD-TM（とうきょうの木・多摩産材入り）』に加え、新たに奈良県産材入り再生木『PLUSWOOD-NR』をラインナップしました。



産学連携

早稲田大学との共同研究

2023年度から「居心地の良いベンチを明らかにするための共同研究」を継続しており、2024年度の研究結果が2025年9月に開催された日本建築学会大会で発表されました。



行動観察実施風景（平行配置）

受賞・表彰

『プラスッド デッキND KKAA』が「2025年度グッドデザイン賞」を受賞

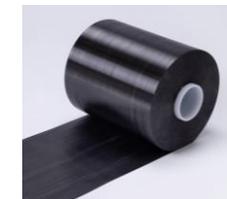
隈研吾建築都市設計事務所のデザイン監修のもと、経年変化した木の質感を再現した、『プラスッド デッキNDKKAA』が「2025年度グッドデザイン賞」を受賞しました。



R&D

熱可塑性炭素繊維複合材(CFRTP)のNEDO事業完遂

福井県工業技術センターと共同開発を進めてきた「CFRTPの一貫製造プロセス」がNEDO事業を完遂（2025年10月）。同開発テーマは、2025年度「NEDO省エネルギー技術開発賞」理事長賞を受賞しました。



2026年3月期 第3四半期のトピックス

経営基盤の強化

成長戦略

フクビ・リフォジュールアーキテクト株式会社 (2026年4月1日の効力発生予定日)

グループ内で分散していた工事業を当社100%出資連結子会社であるリフォジュール株式会社に統合・集約。工事を通じて新たなソリューションを創造し、社会課題の解決に貢献する「開発型コンストラクションカンパニー」を目指して、2026年4月1日よりフクビ・リフォジュールアーキテクト株式会社として商号変更し始動予定。

人的資本経営

「育児休業取得支援制度」を導入

2025年12月より、従業員が安心して育児休業を取得できる職場環境をさらに充実させるため、育児休業取得者の業務をフォローする従業員に特別手当を支給し、業務調整や心理的負担を軽減する「育児休業取得支援制度」を導入。

成長投資

「フクビ岡山株式会社」高性能フェノールフォーム断熱材『フェノバボード』の第2生産拠点建設

高性能断熱材『フェノバボード』の第2生産拠点建設および設備の導入について、経済産業省の「中堅・中小企業の賃上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金」の採択を受け、2026年1月に中堅・中小成長投資補助金事務所より、補助金の交付決定通知書を受領。

※補助対象事業の完了は2027年10月を予定。



より詳細な情報は当社WEBサイトをご参照ください。

当社ホームページ

<https://www.fukuvi.co.jp/>



中期経営計画/企業価値向上2030～資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

<https://www.fukuvi.co.jp/ir/strategy>



本資料に記載されている業績予想や将来予測等は、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績や結果は、様々な要因の変化により、記載の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。本資料に記載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではありません。

お問い合わせ先：経営戦略本部 広報・IR推進室 (0776-38-8415)